



スマート浚渫で海の未来を創造する

2025年7月25日

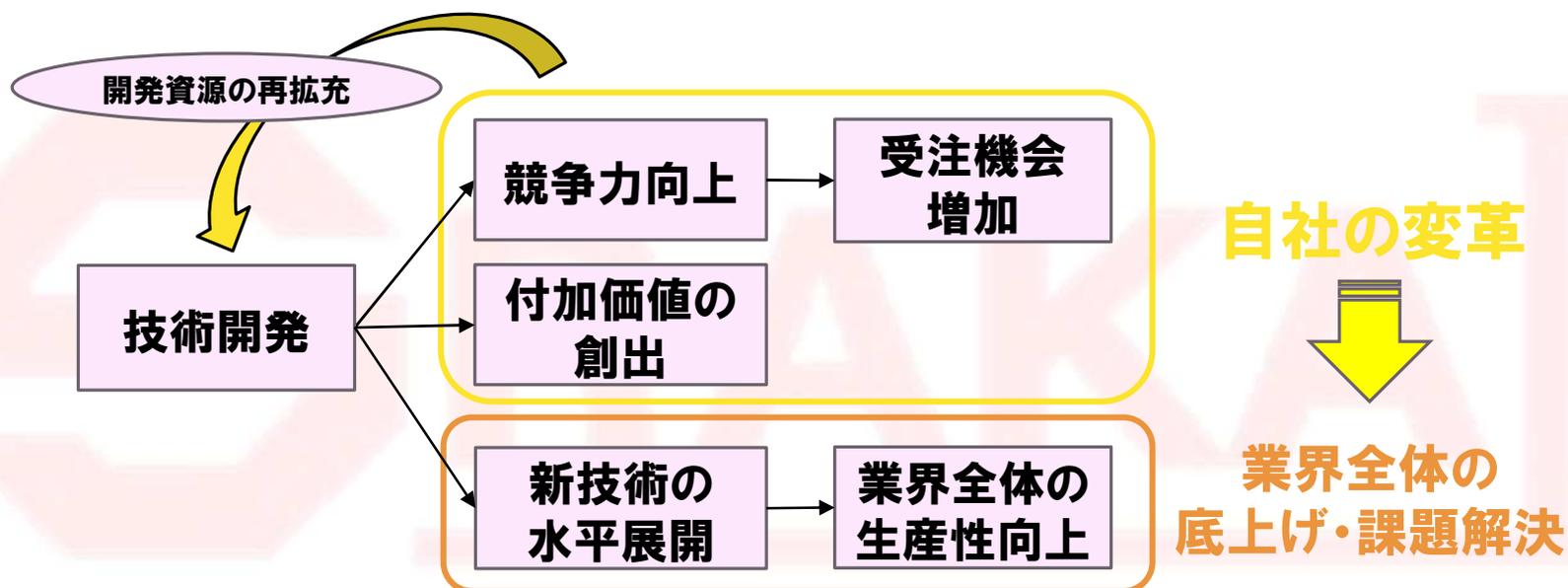
株式会社 白海

SHIRAKAI

理念

スマート浚渫で海の未来を創造する

持続可能な企業経営を実現するためには、企業の変革だけに留まらず、長期的には業界全体の改善を図っていくことが重要だと考えています。DX推進により、まずは自社で変革を実現し、ひいては業界のリーディングカンパニーとして、業界全体の底上げと課題解決の実現を目指しています。



最新のデジタル技術を搭載した浚渫船の建造



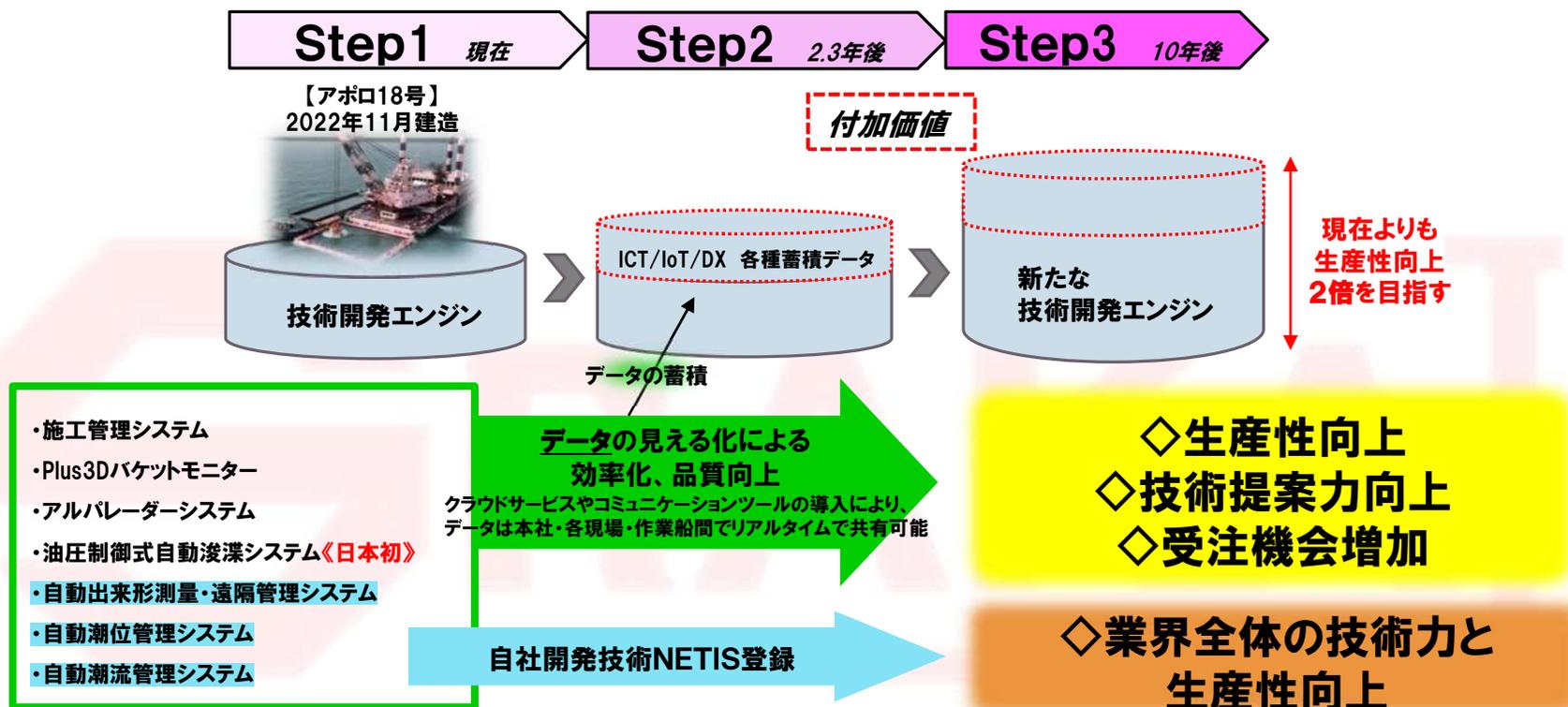
APOLLO18
アポロ18号

- 2022年11月建造
- 強力かつ精密な浚渫性能
- 徹底した環境への配慮
- 最新技術を複数搭載

DX戦略

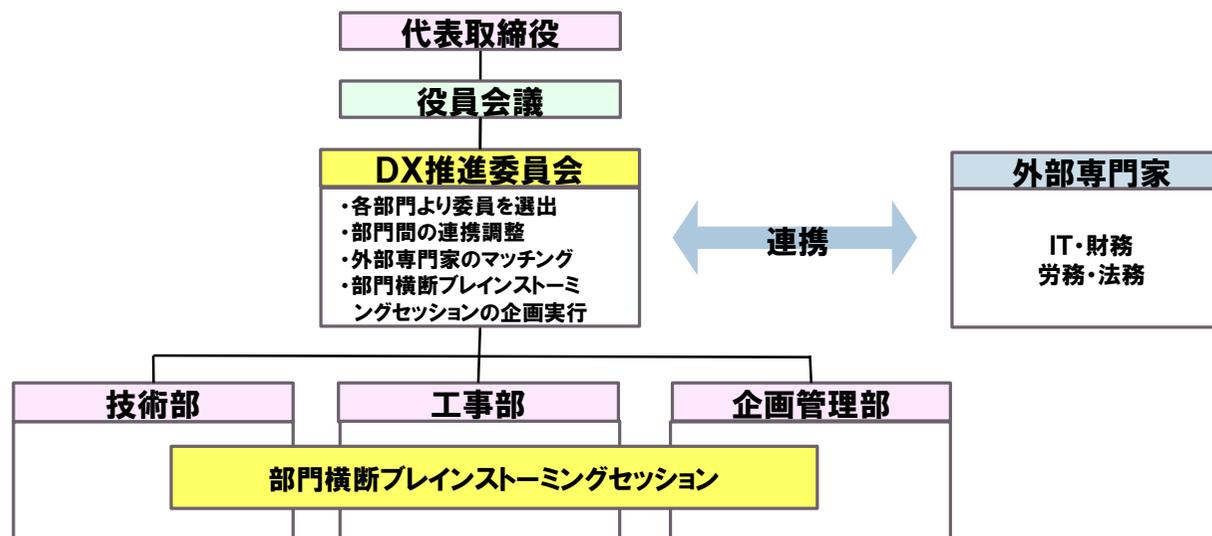
最新のデジタル技術を搭載した浚渫船の建造

現在主流となっている「ICT浚渫工」に必要なデジタル技術の装備だけではなく、さらに高度な技術開発、設備へ投資。結果として作業船や技術者が減少している現況下、従来と比較しても劣らない生産性を実現可能に。さらに今後も、技術力を醸成し、新たな付加価値を創造し続けていく。



DX戦略における組織・体制

DX推進委員会を発足し、技術部門が中心となり、経営陣の指示のもと、より包括的な取組を実現するため、以下のような体制を整えている。技術部門の専門知識に加え、工事部門、企画管理部門を交えることで、多角的な観点からのブレインストーミングセッションが可能となる。



- ◇DX推進委員会の中心となる技術部門においては、女性を中心とした若手人材の確保に注力
- ◇別業界からの中途採用も多く受け入れ、多様な人材を確保
- ◇土木関連の専門教育を受けた方に限定せず、志願者の意欲と可能性を重視した選考を実施
- ◇社内においても、部門異動希望を受け入れ、社内全体でDX推進への意識を向上
- ◇各種業務(スケジュール管理、備品管理、経理・会計業務)へのIoTツールやSaaSサービス導入により業務の省人化・効率化を実現し、技術開発への人的リソース確保が可能に

DX推進指標

弊社では、DX推進の取り組みによる成果を、下記の指標を用いて評価している。

NETIS登録件数

新技術の開発と認定取得は、自社の技術力を客観的に示す重要な指標

技術提案採用率

自社開発技術を含め、DXを考慮して策定した技術提案が、発注者にどの程度評価されているかを測る重要な指標

工事受注率

DX推進により向上した技術提案力が、工事受注にどの程度寄与しているかを測る重要な指標

※技術提案採用率
= 発注者からの技術提案の「評価」

入札時の総合評価制度において、近年はICTに関する技術力が高く評価されるようになったことから、NETIS登録件数増加は技術提案採用率向上に繋がる

技術提案採用率向上は、入札時の総合評価制度において、工事受注率向上に直接的に寄与する

上記の指標に基づき、定期的に経営陣を含めDX推進委員会を中心とした社内評価会議を開催し、DX戦略の効果検証と必要に応じた見直しを行う。

また、工事部を中心とした生産現場からのフィードバックを積極的に収集し、DX戦略の改善に活かす。

以上により、常に最適な形でDX戦略を推進していく。